



請願署名成功へ機運を

辺野古守れ行進開始

沖縄基地ノ一34万人分めざす

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設断念を求める国会請願署名を成功させようと、署名活動の活性化と県民への周知を図るため、ピースウォークが28日、同県糸満市摩文仁(まぶん)を出発します。

国会請願署名は、市町村を単位に実行委員会が結成され、取り組まれていきます。昨年の県知事選で玉城デニーが再選を勝ち取った得票数と同水準の34万人分の賛同を5月19日までに集めることをめざしています。

28日は、前日の急な呼びかけにもかかわらず、糸満、豊見城(とみぎ)のみならず、両市や八重瀬町で草の根の活動を続ける島ぐるみ会議のメンバーら約10人が参加。

加。ピースウォーク団長の上原快佐(のりまさ)氏(無所属)を先頭に、沖縄戦犠牲者を追悼する摩文仁の「平和の礎(いしじ)」から那覇市の奥武山(おくのやま)公園までを歩きました。

上原団長は「請願署名の機運を盛り上げていこう」と強調。国会請願達成糸満実行委員会の大城規子(のりこ)さんは、街頭で署名を集める困難を語りながらも「あの手この手でやっていたかなければ」と話していました。

日本共産党の前田潤(のりみ)糸満市議、神谷信夫(のぶお)八重瀬町議も参加しました。